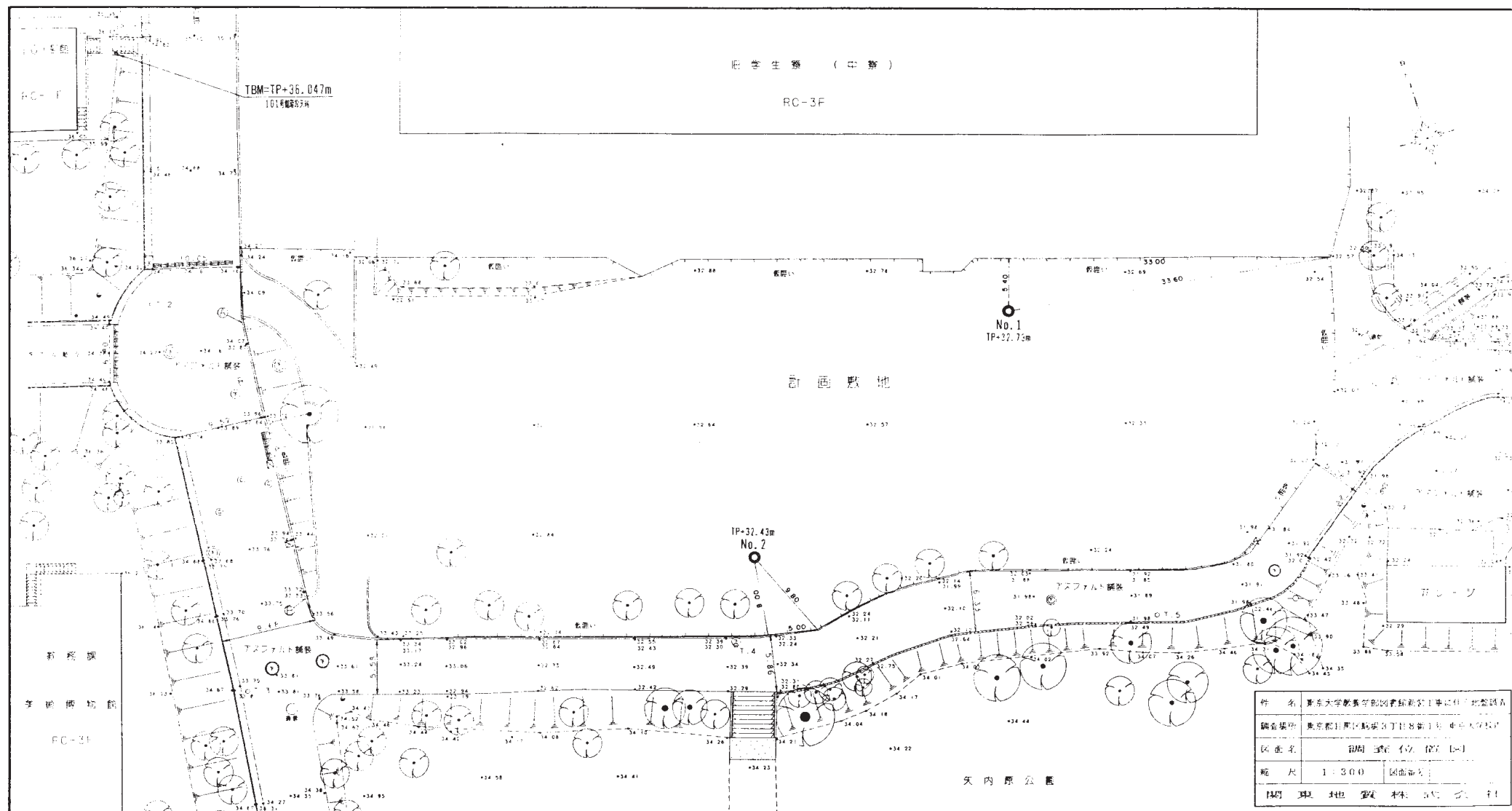


資料 17(1/4)



教養学部図書館新営工事に伴うボーリング柱状図

ボーリング柱状図

調 査 名 東京大学教養学部図書館新営工事に伴う地盤調査

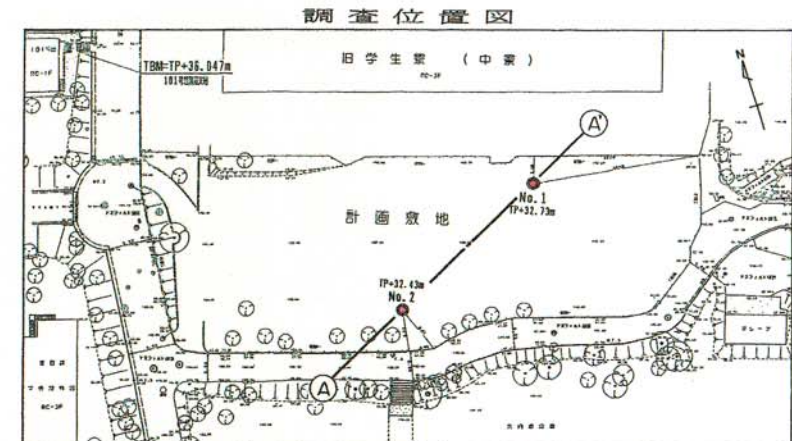
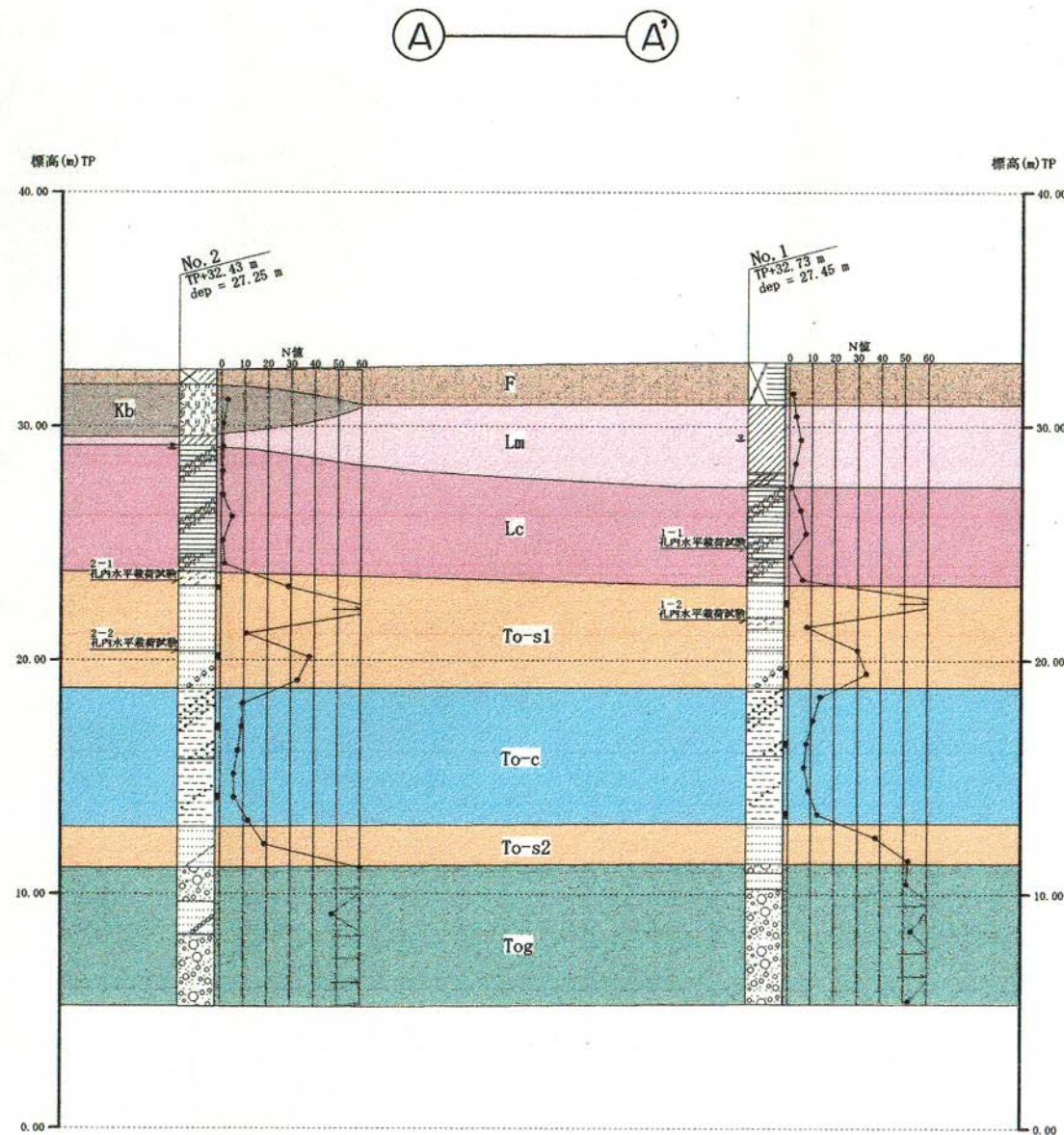
ボーリングNo.						
----------	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シート No.

ボーリング名	No. 2		調査位置		東京都目黒区駒場3丁目8番1号 東京大学構内						北 緯			
発 注 機 関	東京大学施設部					調査期間		平成 12 年 2 月 14 日 ~ 12 年 2 月 17 日				東 経		
調 査 業 者 名	関東地質株式会社 電話 (03-3834-0961)		主任技師		稲葉 陽一		現 場 代 理 人	宮沢 康純		コ ン 鑑 定 者	稲葉 陽一		ボーリング 責 任 者	菅沼 操
孔 口 標 高	TP +32.43m	角	180° 上	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤 勾配	約 水平 0° 鉛直 90°	使用 機種	試 錐 機	KR-100		ハンマー 落下用具	トンビ	
総 掘 進 長	27.25m	度	下 0° 90°	向				エ ン ジ ン	NS-75		ポン プ	V-6		

標尺	層高	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位(m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験		試験採取方法	室内試験()	掘進月日	
										深	10cmごとの打撃回数 / 貫入量(cm)				試験名および結果	深				試験番号
											度	0	10							
(m)	(m)	(m)	(m)																	
1	31.78	0.65	0.65	埋土・ローム	暗茶褐色			ローム主体 縦横所々に硬質片混入	2/14 3/40 無水掘	1.15 1.47 2.15	1 1 1	3 32	3							
2	29.58	2.20	2.85	黒ボク	黒褐色			有機質ローム 茶褐色のローム片混入 2m付近より含水やや多く軟質になる	2.48 3.15 3.46	0 1 1	1 20 31	1								
3	29.18	0.40	3.25	ローム	黄茶褐色			粘土質を帯びる 含水多い	4.15 4.57 5.15	0 1 0	1 42 20	1								
4				凝灰質粘土	淡黄灰・黄褐色			上部 ローム質を強く帯びる 含水多い 粘性弱い中 4m付近より黄褐色 粘土化状の軽石が非常に多く混入 5m付近より粘性強くなる又一部 ローム質を帯びる 5.70m付近より酸化物質、炭化物混入 や有機質状 6.80m付近より含水非常に多く軟質になる	5.56 6.15 6.46	2 1 1	2 5 31	5								
5	24.53	4.55	7.90	凝灰質粘土	淡黄灰・黄褐色			上部 有機質シルト、有機物混入 粒径やや粗く不均一 9.70m付近より粒径細かく締まりだす	7.15 7.49 8.15	0 1 1	1 34 16	1								
6	23.78	0.75	8.65	凝灰質粘土	淡黄灰・黄褐色			粘性中～弱い 軽石混入 軟質8.50m付近より青緑色になる	8.50 9.15	9 10	10 29 30	2								
7	23.18	0.50	9.25	シルト質細砂	淡黄緑			粒径均一 有機質を帯びたシルト多く混入	9.45 10.15	18 26	16 60 60	75								
8	20.38	2.80	12.05	細砂	淡黄緑			11m付近より淡緑色 粒径細かくほぼ均一 含水多い 貝殻片若干混入 幾分軟質になる	10.39 11.15 11.45	5 3 3	3 11 30	11								
9	18.78	1.50	13.65	貝殻混り細砂	緑灰			粒径細かく均一 所々貝殻片多く混入 13m付近より貝殻片非常に多く混入 含水多い	12.15 12.45 13.15	10 12 11	16 38 30	38								
10				砂質シルト	暗灰			貝殻混り細砂多く混入 一部シルト質細砂状になる 15m付近より若干粘土質を帯る 15.85m付近より全体に砂多くなる	13.45 14.15 14.46	3 3 3	4 10 9	10								
11	15.73	3.05	16.70	砂混りシルト	暗灰			円状～レンズ状に細砂混入 貝殻片少量混入 18m付近より若干粘土質を帯る 19m付近より少量有機物混入 硬質状になる	15.15 15.45 16.15	3 2 2	3 11 9	9								
12	12.88	2.85	19.55	砂混りシルト	暗灰			円状～レンズ状に細砂混入 貝殻片少量混入 18m付近より若干粘土質を帯る 19m付近より少量有機物混入 硬質状になる	16.46 17.15 17.46	2 2 2	2 9 30	6								
13	11.13	1.75	21.30	シルト混り細砂	暗青灰			19.85～18.95m間 砂礫を挟む 粒径ほぼ均一 含水多い シルトを所々薄く挟む 20.85m付近より礫混り状 φ2～5mmの円～亜円礫混入	18.15 18.45 19.15	2 2 2	2 9 30	6								
14	9.68	1.45	22.75	砂礫	淡黄緑			φ2～30mmの歪角～亜円礫主体 マトリックスは細～中砂 全体に逸水あり 20.50m付近より所々薄く砂挟む	19.45 20.15 20.45	3 7 9	7 19 30	19								
15	8.33	1.45	24.20	礫混り細砂	暗灰			粒径所々粗く不均一 φ2～10mmの亜円礫混入 23.35～23.55m間 砂礫挟む 以深 全体に礫の混入が多くなり 一部砂状になる	21.15 21.45 22.15	12 17 31	60 30 30	60								
16				砂礫	暗黄緑			φ2～40mmの円～亜円礫主体 φ50～60mmの礫点存在 中～粗砂多く混入 逸水あり 25m付近より全体に礫径φ2～ 60mmの円～亜円礫主体で密になる 26.70m付近より所々砂の多い所 を薄く挟む	22.31 23.15 23.45	27 33 5	60 60 16	113								
17									23.75 24.45 24.75	13 14 26	21 48 60	48								
18									25.15 25.45 26.15	51 9 1	60 11 11	164								
19									26.30 27.15 27.25	44 16 5	60 18 10	120								
20	5.18	3.05	27.25	砂礫	暗黄緑				27.25	60	60	180								



調査地の地質層序表

地質時代	地層名	記号	主な土質	層厚 (m)	N値範囲	記事
第四紀 更新世 新東京層	埋土層	F	ローム	0.65 ~ 1.80	2	やや不均質なローム主体 No. 1 孔では上部にコンクリート片、礫等混入
	有機質ローム層	Kb	黒ボク	2.20	1~3	No. 2 孔のみ確認される 均質である 有機物混入
	関東ローム層	Lm	ローム ローム質粘土	0.40 ~ 3.50	1~5	少量の腐植物混入スコリア混入 6L~4m 付近、浮石を多数に混入 下部、粘土化が進行している
	凝灰質粘土層	Lc	凝灰質粘土	4.20 ~ 5.40	1~8	粘性強い スコリア混入 色調の変化著しい
	第一砂質土層	To-s1	細砂	4.40 ~ 5.00	8~60<	粒径やや不均一 含水多い 下部、貝殻片を多数に混入
	粘性土層	To-c	砂質シルト	5.80 ~ 5.90	6~14	貝殻片少量混入 有機物少量混入 細砂をレンズ状に挟み込む
	第二砂質土層	To-s2	細砂	1.70 ~ 1.75	19~52	粒径ほぼ均一、含水中~多い 所々、シルトを混入 小礫混入
	東京裸層	Tog	砂礫	5.95 以上	48~60<	φ2~40mm の重円礫主体 φ50~60mm の稜点在 マトリクスは細中砂

※N値の平均値は、上限を60とした。

件名	東京大学教養学部図書館新営工事に伴う地盤調査		
調査場所	東京都目黒区駒場3丁目8番1号 東京大学校内		
図面名	地層推定断面図		
縮尺	縦1:200	図面番号	
	横1:300		
関東地質株式会社			